

## ハラビロマキバサシガメ

昼の弁当を澄川基地の野外テーブルで食べていました。目の前に段ボール箱が置いてありまして、その開けられた蓋の上端に小さな虫が止まっているのが目にとまりました。形からサシガメの一種だと思いましたが、初めての出会いなので正式名はわかりません。食事を中断して、この夏から虫入れ用に用意しました小さいタッパウェアに収納しました。2018年11月10日のことでした。

家に持ち帰りまして、愛用の図鑑「札幌の昆虫」で該当する虫を捜しましたが、なかなか見つかりません。マキバサシガメ科の生態写真のハラビロマキバサシガメが色合いは少し違いますが、短い翅と全体の形が近いと思いましたので、ネットで検索しまして、確認しました。図鑑には出現8～11月、体長



10～12mm、棲息場所は樹上や草上、食性は肉食性で小昆虫を捉えて体液を吸入するようです。ネットの説明欄には分布はほぼ日本全土、離島のことはわかりません。世界的には朝鮮半島から中国、旧北区、カナダとあります。かなり広く分布しております。ネットでの画像を拝借しましたので、ご覧ください。

今年の6月17日から始めた澄川の昆虫採集の最後の収穫となりました。11月も半ばをすぎますと虫達はもう出てきません。来年の雪解けまでお休みとなりますが、さて、またはどんな虫達と出会えるのかが、もはや楽しみと待ち焦がれる次第であります。(記 高野)